



治療薬マニュアル 2024

矢崎義雄＝監修

北原光夫、上野文昭、越前宏俊＝編

定価 5,610 円／B6 判・2,800 頁／医学書院／2024

添付文書情報を整理した「薬剤便覧」に、専門医の「臨床解説（適応外使用など）」を加えた全医療者必携の治療薬年鑑。後発医薬品や 2023 年収載の新薬を含む、ほぼすべての医療用医薬品を収録している。公式サイトでの新薬情報の掲載、パソコン・スマホ・タブレットで利用できる「Web 電子版」での薬価改定対応など、書籍発行後の情報提供も充実。圧倒的な情報量が支持されている 1 冊。



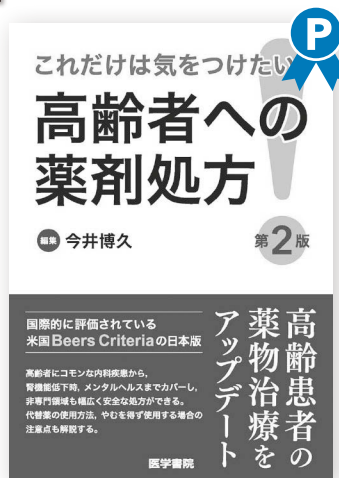
今日の治療指針 2024 年版 [ポケット判]

私はこう治療している

福井次矢、高木 誠、小室一成＝総編集

定価 17,050 円／B6 判・2,224 頁／医学書院／2024

1959 年の初版から長きにわたり臨床現場で使われてきた信頼と実績の最新治療年鑑。第 66 巻となる今版では見出し「帰してはいけない患者」を新たに追加したほか、診断に関する記載やエビデンス情報も充実させた。薬剤師による「服薬指導・薬剤情報」や、各種付録など便利な情報も満載！ マルチデバイスで閲覧可能な電子版つき。



これだけは気をつけたい！

高齢者への薬剤処方 第2版

今井博久＝編

定価 4,840 円／B6 判・432 頁／医学書院／2024

米国 Beers Criteria の日本版が、最新の医薬品情報を盛り込み改訂した。高齢者への適切な薬剤処方の知識は、診療科を問わず必要不可欠である。プライマリ・ケア領域の医師・薬剤師を対象に、高齢者のコモンな内科疾患から、腎機能低下時、メンタルヘルスまでカバー。医薬品使用時の重篤度と判定理由を示し、代替薬の使用法や、やむを得ず使用する際の注意点など、診療場面で判断に悩むポイントを厚く解説した。高齢患者の薬物療法をアップデートできる内容となっている。

